

岐阜県立大垣南高等学校で防災講座を行いました

令和7年10月2日（木）、岐阜県立大垣南高等学校で1年生約240名に防災講座を行いました。学校の近くには、揖斐川や水門川・相川などが流れており、学校は水害リスクの高い地域です。

講座では、大垣市でも被害のあった伊勢湾台風や9.12豪雨災害などを学習し、映像やVRによる浸水疑似体験、伊勢湾台風AI語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験を行いました。VR体験中には「怖い」との声があがり、AI語り部体験では「災害の後、何が一番大変でしたか？」などと質問をしていました。

また、学校の想定される浸水深が5メートル以上だと伝え、校舎に当てはめた写真を見た際には、周りの友人たちと顔を見合わせるなど驚いた様子でした。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は岐阜新聞に取材頂きました。

